

府職労結成 70周年まつり



11月13日(日) 10時開場 11時~15時
マイドームおおさか3階ホール

府職の友

FUSYOKU NO
TOMO

2043号 2016年7月20日

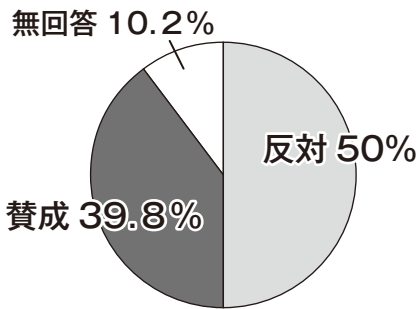
発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/有田 洋明 編集人/小松 康則
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

憲法をくらし・職場のすみずみにいかそう



憲法変われば

安倍晋三首相の下での憲法改正
(共同通信社の出口調査)



改憲勢力が衆参ともに3分の2を占めたことで、さっそく安倍首相は「憲法改正は自民党の立憲以来の悲願」「憲法改正する」と申し上げている。選挙公約にも書いている「前文から全てを含めて変えたい」と全面的な改憲への意欲を強めている。

また、自民党の稲田朋美政調会長は「我が党は憲法改正を党是としている」「憲法草案は出している。それに対して具体的な提案がないと議論は深まらない」と、自民党改憲草案をベースにした議論を進める姿勢を示しています。

その結果、32ある一人区のうち11で野党統一候補が勝利し、自民党の独占に歯止めをかけました。

とりわけ、基地問題や原発問題でオール県民のたたかいをすすめている沖縄や

選挙期間中、与党・改憲勢力は、いっさい憲法問題には触れず、嘘にまみれた数字でアベノミクスを評価し、野党共闘批判に終始しました。

国民は改憲を望んでいない

しかし、改憲勢力が衆参ともに3分の2を占めたことで、さっそく安倍首相は「憲法改正は自民党の立憲以来の悲願」「憲法改正する」と申し上げている。選挙公約にも書いている「前文から全てを含めて変えたい」と全面的な改憲への意欲を強めている。

また、自民党の稲田朋美政調会長は「我が党は憲法改正を党是としている」「憲法草案は出している。それに対して具体的な提案がないと議論は深まらない」と、自民党改憲草案をベースにした議論を進める姿勢を示しています。

市民と野党の共闘が前進

10日に投票された参議院選挙は、安倍政権の暴走ストップ、戦争法(安保法)廃止、立憲主義・民主主義を取り戻そうと、市民と野党の共闘が大きく前進する中でたたかわれました。

福島で、現職大臣が落選し、沖縄では衆参あわせて6名全員が野党統一議員となりました。

さらに、鹿児島県知事選挙では、川内原発の再稼働反対を訴えた野党統一候補が自民党候補に勝利しています。

参院選出口調査「改憲反対」が多数

「安倍晋三首相の下での憲法改正」について尋ねた「共同通信」の調査では、反対が50%と、賛成の39.8%を大きく上回りました。

改憲派の政党を支持して上回っています。

7月13日、ラフティングツアーDVDを観るつどいを開催しました。5月末に開催したラフティングツアーの参加者はもちろん、参加できなかった人も集まり、軽食を食しながらDVDを鑑賞しました。激流を下る映像を観て、歓声や笑い声も上がり、楽しく和やかなつどいとなりました。

また、この日は、8月4日〜6日に広島市で開催される2016原水爆禁止世界大会に府職労の代表として参加する青年2人も参加し、急ぎょ壮行会も行ないました。

代表の塚元寛貴さん(総務農林支部)と新庄信也さん(府税支部)は、「以前から広島に行つて学びたい」と思っていた「この機会にしっかりと学びたい」と、それぞれ決意を語りました。

府職労は、2人の青年を代表団として送り出すため、代表派遣カンパにとりかかっています。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

ラフティングツアーDVDを観るつどい & 2016原水爆禁止世界大会 代表参加者壮行会



決意を語る塚元さん(左)と新庄さん

また、今回の参院選から選挙権を獲得した18〜19歳を対象としたNHK調査でも「改正する必要はない」が26%で「改正する必要がある」の22%を4ポイント上回っています。

痛苦の反省に立って、国民の自由や権利をすみずみまで保障した憲法を権力者や政権、アメリカの都合の良いように変えるなんてこともありません。

遊歩道

参院選が終わった。安倍首相と与党は、改憲についてはほとんど語らず、ごまかしの数字を並べて「また、道半ばではあります。アベノミクスは確実に『結果』を生み出しています」と、アベノミクスへの幻想を強調した。また、強行した沖縄・辺野古の米軍新基地建設を中止し、県との和解・話し合いをすすめる方針も示した。▼参院選の投票日の翌日早朝には、沖縄県東村高江の米軍ヘリパッド(着陸帯)建設工事用の資材などの搬入作業を行った。そして、14日には、沖縄県の対応の違法性を確認する新たな訴訟を検討する方針まで表明した。まるで選挙が終わるのを待つかのよう、米軍基地建設強行の姿勢をあらわにした▼この参院選で沖縄県では、現職大臣に10万票もの差をつけて、基地建設反対を掲げる野党統一候補が勝利した。前回の参院選(2013)、総選挙(2014)でも野党統一候補が勝利し、沖縄の国会議員は6人全員が基地反対の野党統一議員となった▼今回の政府の姿勢は、こうした沖縄県民の意志をことごとく踏みにじるもので断じて許せない▼真の民意を無視した暴走政治は、国民の大運動で止めるしかない。(コ)